

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	大村洋子
発言の会議	令和4年11月29日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

### 【件名及び発言の要旨】

#### Ⅰ 高齢者の健康づくりとFM戦略プランによる「みんなの家」廃止の整合性について

9月定例議会で「みんなの家」体育室の稼働率に着目し質疑を交わした。今回は「クロスセクターベネフィット」の手法を取り入れることを提案する。10月中旬から11月初旬にかけて6か所で「みんなの家」廃止についての説明会があり、私は衣笠、久里浜、鴨居の3か所の説明会に伺い、そこで参加者から様々な御意見を伺った。

- (1) 説明会に参加した皆さんから「体操、絵手紙、卓球で利用している。近くにあると安心。」「みんなの家はお茶飲みしながら集まれるところ。」「シニアの居場所がなくなるのは不安。」「みんなの家がなくなってお金がかかるところになるのは困る。」「卓球クラブは小さな生きがい。楽しくやっている。良い環境。」との発言が続出し、「みんなの家」をなくさないでほしいという趣旨の御意見が大半だった。これらの市民ニーズに対して市はどのような受け止めをお持ちか、市長に伺う。
- (2) 「みんなの家」は「青少年の家」と呼ばれていた時代から今や年配者、高齢者の皆さんの健康に寄与する施設でもあるということができないのではないか。市長の御認識を伺う。

- (3) FM戦略プランは財務部主導で施設管理、財政負担軽減の観点で進めていくことが第一義となっているが、他部門の要素との総合的観点、今回の「みんなの家」で言えば、高齢者の健康寿命延伸、ひいては介護、医療への負担軽減という観点こそ重視して進めていくことが大切だと私は考える。この点について市長のお考えを伺う。

## 2 社会福祉法人横須賀市社会福祉事業団の経営に対する本市の認識について

日本共産党市議団の下に事業団職員から情報提供があり、期末勤勉手当の支給率の改定に係る職員説明会が開かれ、その内容について同意を求められているとのことだった。事業団の損益は5期連続の赤字決算となり額も年々増加してきている。かがみ田苑で言えば、今年度から条例を改正して就労移行支援の施策を廃止した。他方、4回の実地指導では不適切な人員配置が明らかとなり2,088万円余の返還金が生じた。その後は労働基準監督署の臨検があり職員を違法に就労させていた実態が判明し労働基準法第34条違反が確定した。そして、三たび表面化したのが事業団職員の期末勤勉手当の半減である。

- (1) 私の昨年の質問に対して市長は「今後は改善計画を具体化し、きちんと成果につながるよう、組織体質の部分も含め、引き続き経営改善に積極的に関わっていきたいと思います。」と答弁されていた。しかし、実態は職員の期末勤勉手当を半減するという方針だ。経営改善の具体策が職員の期末勤勉手当半減ということだと受け取ったが、この点について市長はどのように受け止めているのか。また、そもそも、社会福祉事業団の現在の経営状況についてどのような認識をお持ちか、併せて伺う。
- (2) 今となっては指定管理者選考時の指定管理料が適正であったのかという疑念を持たざるを得ないが、市長の御認識はいかがか。
- (3) 職員の期末勤勉手当を半減せざるを得ない状況にある社会福祉事業団に対して何らかの手だてを早急に打つべきと思うが、この点に関する市長のお考えをお示しいただきたい。

- (4) 私は社会福祉事業団の経営状態に対して率直に言って解散させるか、支援し続けるかという瀬戸際の感すら覚える。とりわけかがみ田苑については当然、障害を持った方々のセーフティネットであることを考えれば、決してなくすわけにはいかない。市長はこの状況をどう打開するおつもりか、御所見を伺う。

### 3 「浦賀の渡し」事業と愛宕丸の株式会社トライアングルへの無償譲渡及び附帯設備の無償貸付けについて

今年1月17日に基本協定書が締結され、4月1日より「浦賀の渡し」の運航事業者は株式会社ミウラ総建から株式会社トライアングルへと変更された。「浦賀の渡し」は浦賀奉行所が置かれて間もない1725年に始まったとされ、その後東西の浦賀の町内会が共同して運営し、1943年に横須賀市に移管された。本市は約80年間にわたり委託事業として「浦賀の渡し」を行ってきたが、同事業と御座船風に仕立てられた愛宕丸を民間企業に無償譲渡し、附帯設備も無償貸付けすることとした。そこで、以下5点について伺う。

- (1) 事務事業等の総点検の観点から、今まで本市で行っていた船体・栈橋の各種修繕も込みで行える事業者に「乗り換えた」ということか。
- (2) 「浦賀の渡し」事業と船そのものは無償譲渡、附帯設備は無償貸付けとして分けた理由は何か。
- (3) 300年余りの歴史ある浦賀の渡しの所有権を市は手放してしまったが、今後この歴史と文化を守り抜くことができるのか。
- (4) 「浦賀海道」市道2073号線の占有許可の要否はどのような扱いとなっているのか。
- (5) 市長のおっしゃる「民官連携」の具体的な例と捉えてよろしいか。

### 4 米海軍基地からのPFAS流出について

これまで、私は代表質問、一般質問、2回の緊急質問と連続的にPFAS流出について伺ってきた。今回は10月4日の緊急質問以

降の出来事の進捗に関連して伺う。

- (1) 粒状活性炭のフィルターを通過した水のサンプリングの結果は判明しているのか。報告は受けたか。受けていないのであれば、確認はしたのか。
- (2) 汚泥のサンプリングの結果は判明しているのか。報告は受けたか。受けていないのであれば、確認はしたのか。
- (3) 在日米海軍司令官は10月6日に「リフトステーションから排水処理施設の間、1か所大きなタンクがあり、そのタンク内の水をくみ取ることを検討している。」と発言している。この結果は判明しているのか。報告は受けたか。受けていないのであれば確認はしたのか。
- (4) 10月27日に出された「排水処理施設におけるサンプリングの分析結果」を見ると生活排水ラインからも産業排水ラインからも入口、出口ともに5桁の数値が検出されている。また不検出のときとそうでないときのばらつきもあり、総じてPFOSよりもPFOAの数値が高くなっている。これらの事実から、米海軍は原因究明のために現在どのような手だてを打っていると報告を受けているのか。受けていないのであれば、確認はしたのか。
- (5) 本市は日米合同委員会の枠組みを通じて米海軍基地へ立入調査を申請し、米海軍も了解していると思うが、進捗はどのようになっているのか。そもそも立入調査はどのような手続で進められていくものなのか、併せて伺う。
- (6) 緊急質問でもやり取りさせていただいたように、広範な施設と土壌に影響が及んでいる可能性があるかと懸念している。全貌が詳細に明らかになるまで待つのではなく、途中経過でもよいので、原因究明の進捗状況について報告を求め市民に公表すべきと考えるがいかがか。

## 5 統一協会との関わりについて

これまでの資料照会と聞き取りにより、本市は統一協会関連団体が関わっていた「ピースロード」という自転車で各地を回るイベン

トの表敬訪問を受けていたことと世界平和統一家庭連合横須賀家庭教会にメッセージを出していたことが分かった。

- (1) 「ピースロード」の表敬訪問はどのような経緯でどの時期に誰が対応したのか。また、「ピースロード」が統一協会関連団体であるということを市は認識していたのか。もし、認識していたのであれば、なぜ、お断りしなかったのか、併せて伺う。
- (2) 本市は2021年5月31日に、世界平和統一家庭連合横須賀家庭教会にメッセージを出している。きっかけは市議会議員からの依頼だったとのことだが、ここに至る経緯を伺う。
- (3) 「ピースロード」の表敬訪問や世界平和統一家庭連合横須賀家庭教会へのメッセージの本市の対応について、現在、市長はどのような御認識をお持ちか。また、統一協会をどのような団体だとの御認識をお持ちか、併せて伺う。
- (4) 今後、統一協会関連団体との関係を一切絶つことをお約束していただけるか。